

沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

I 平成4年度研究業務状況

(1) 二部門以上共通

1. 沖縄伝統文化・芸術に関するデータベース作成のための基礎作業 [担当：全員]
2. ラオス文化と沖縄文化の比較研究のための調査 [担当：加治工真市教授・金城厚助教授・柳悦州講師・久万田晋講師]
3. 『日本民謡大観（沖縄・奄美） 奄美篇』の執筆 [担当：波照間永吉助教授・金城厚助教授・久万田晋講師]
4. 八重山の伝統舞踊の調査 [担当：波照間永吉助教授・久万田晋講師]
5. 稲作農耕儀礼の調査研究 [担当：波照間永吉助教授・久万田晋講師]
6. 『琉球国由来記』研究会 [担当：波照間永吉助教授・久万田晋講師]

(2) 芸術・文化学部門

1. 地域文化の調査研究
 - A 南島歌謡語の研究 石垣市四ヶ集落 [担当：波照間永吉助教授]
 - B 沖縄諸島の神歌の調査研究
 - C 西表島古見の伝統文化の調査研究 [担当：加治工真市教授・波照間永吉助教授・森田孫栄調査員・大底朝要調査員・新本貞男調査員・新城敏男調査員]
2. 南島歌謡の研究 [担当：波照間永吉助教授]
3. 『沖縄古語辞典』の執筆 [担当：加治工真市教授・波照間永吉助教授]
4. 八重山方言辞典作成のための調査研究 [担当：加治工真市教授]
5. おもろ研究会 [担当：波照間永吉助教授。「おもろ研究会」（仲宗根政善代表）を開催]
6. 沖縄文化と日本文化の比較文化学的研究 [担当：ホルスト・S・ヘンネマン教授]

(3) 伝統工芸部門

1. 沖縄織物の研究 [担当：柳悦州講師]
 - A 琉球織物画像データベース作成のための基礎研究
 - B 「御絵図」研究
 - C 技法研究
2. 絹の劣化に関する研究 [担当：柳悦州講師]
3. ラオスの織物に関する研究 [担当：柳悦州講師]
4. 沖縄伝統工芸の研究 [担当：大嶺實清教授・和宇慶朝健助教授]

(4) 伝統芸能部門

1. 沖縄・奄美の民俗音楽調査研究
 - A 座間味村阿嘉の民俗芸能・音楽の調査研究 [担当：久万田晋講師]
 - B 奄美大島秋名の民俗芸能・音楽の調査研究 [担当：久万田晋講師]
 - C 与論島十五夜踊芸能の調査研究 [担当：久万田晋講師]
2. 沖縄古典舞踊の技法研究 [担当：宮城能鳳教授・横道萬里雄講師・久万田晋講師]
3. 奄美沖縄民俗音楽関係資料の収集 [担当：金城厚助教授・久万田晋講師]

Ⅱ 主要研究業績（平成4年1月～12月）

(1) 主要研究業績

1. 著書・編書
2. 論文
3. 作品発表・公演
4. 研究発表
5. 解説等
6. 講演・放送
7. その他

(2) 助成研究

1. 平成4年度において研究代表者、研究分担者となっている科学研究費研究
 - a 研究代表者となっているもの
 - b 研究分担者となっているもの
2. 沖縄県立芸術大学振興財団助成研究
3. その他

(1) 研究所長

加治工真市（兼任教員）

- (1) 1. 監修『医学沖縄語辞典』稲福盛輝著 ロマン書房本店。
1. 『現代日本語方言大辞典』巻1（平山輝男他編）明治書院 平成4年5月20日。
『 “ ” 』巻2（ “ ” ）明治書院 平成4年6月19日。
『 “ ” 』巻3（ “ ” ）明治書院 平成4年9月18日。
2. 書評『久米島の地名と民俗』（仲村昌尚著）『琉球新報』平成4年8月22日。
2. 書評『うちなあぐち考』（野原三義著）『沖縄タイムス』平成4年5月12日。
2. 書評『久米島の地名と民俗』（仲村昌尚著）『新沖縄文学』No.94 平成4年12月30日。
2. 「暮らしの中の言葉——方言」『沖縄県風土記』（高宮廣衛・中山満監修）旺文社 平成4年2月24日。
4. 「国語音韻史における琉球方言の位置」復帰20周年記念沖縄研究国際シンポジウム第3分科会（言語学）。
7. 『石垣方言辞典』宮城信勇著 文字化編集作業開始 平成4年7月録音終了。

(2) 芸術・文化学部門

Horst Siegfried Henneman（ホルスト・S・ヘンネマン、兼任教員）

- (1) 2. Zentralgewalt und Kunstgenie. Zum 400. Todestag der Hinrichtung Sen no Rikyûs.
（中央権力と芸術天才 千利休賜死の四百年忌に因んで）OAG（ドイツ東洋文化研究協会）：Beiträge zum 2. Japanologentag, 平成4年5月。

2. Nô in der Gestalt des Kumiodori. Ein dramaturgischer Vergleich der Stoffe und Stile.

(組踊にみる能の姿 題材と様式の演劇論的比較)『沖縄芸術の科学』第5号 平成4年3月31日。

波照間永吉 (専任教員)

- (1) 2. 「小浜島の御嶽の神歌」『沖縄芸術の科学』第5号 平成4年3月31日。
2. 「伊是名島勢理客のイルチャヨー・ユーニゲーの神歌」『沖縄の神歌 沖縄の神歌伝承活動 (V) - 沖縄本島・周辺離島 -』 沖縄県教育委員会 平成4年3月30日。
2. 書評『原郷の島々』(三木 健著) 『八重山毎日新聞』平成4年1月27日~28日。
2. 書評『南島歌謡論』(玉城政美著) 『沖縄タイムス』平成4年1月28日。
2. 書評『われら黒潮民族』(琉球新報社発行) 『南海日々新聞』平成4年12月。
2. 「オモロを歩く」(共著) 『琉球新報』平成4年1月1日~12月27日 (毎週日曜日掲載 10回執筆)。
2. 「ことば咲い渡り」(共著) 『沖縄タイムス』平成4年1月1日~12月31日 (約300回掲載のうち、約70回執筆)。
4. 「沖縄の古代文学研究-この10年の神歌研究を中心に-」復帰20周年記念沖縄研究国際シンポジウム第5分科会 (文学・民族音楽) 平成4年10月25日。
5. 「竹富島の種取祭」第14回沖縄・八重山文化研究会 平成4年6月21日。
6. 「トゥバラーマーその叙情と形式-」沖縄県博物館協議会八重山大会講演 平成4年9月16日。
6. 「オモロ解説」ロータリークラブ那覇東地区月例会講話 平成4年10月18日。

6. 「オモロと生活」琉球放送モーニングサロンー毎週月曜日出演 平成4年10月5日～12月28日。

(3) 伝統工芸部門

大嶺實清（兼任教員）

- (1) 1. 陶 Toh 大嶺實清 JISSEI OMINE
3. OMINE JISSEI 展 沖縄グランドキャッスルホテル・ギャラリー
3. 大嶺實清器展 秋田市ギャラリー大村
7. 八重山西表島における陶土調査（5日間）

和宇慶朝健（兼任教員）

- (1) 3. 1月 島の道・美の交流展「記憶の風景25-2」 版画 那覇市民ギャラリー。
3. 1月 和宇慶朝健版画展「記憶の風景1」他29点 版画 ギャラリーみやぎ企画展。
3. 2月 和宇慶朝健版画展「記憶の風景10-7」他24点 版画 花ギャラリー TOMOE。
3. 3月 第44回沖展「記憶の風景1」他29点 版画 浦添市体育館（会員出品）。
3. 5月 写真展「アジアの貌」アジア6カ国の写真展「俣夫」他15点 写真 花ギャラリー TOMOE。
3. 9月 県展「作品92-9-1」ペーパーワーク 宜野湾市体育館（無鑑査出品）。
3. 10月 DISTINCT WORKS 3「記憶の風景P-1」他11点 ペーパーワーク 画廊サロンドミツ。
3. 11月 復帰20周年記念事業アジア太平洋芸能フェスティバル「友好平和のモニュメント」 立体造形。
3. 12月 沖美連サムホール展「記憶の風景P-14」ペーパーワーク ギャラリーみやぎ。

柳 悦州（専任教員）

- (1) 2. 「琉球王朝時代における『御絵図』：絣基本単位による分析」『沖縄県立芸術大学美術工芸学部紀要』第5号 平成4年3月20日。
2. 「ラオス染織予備調査報告」『沖縄芸術の科学』第5号 平成4年3月31日。
3. 第66回国展「飾り布 K20」 東京都立美術館（会員推挙）。
- (2) 2. 研究代表者 「絹の劣化に対する湿度と紫外線の影響」。
- (2) 2. 研究分担者 「琉球王朝時代における『御絵図』」 研究代表者：祝嶺恭子。

(4) 伝統芸能部門

宮城能鳳（兼任教員）

- (1) 3. 1月 琉球大学放送公開講座スクーリングの講師を務める。
3. 2月 平成3年度伝統組踊保存会公演出演 「花売の縁」乙樽の役。
3. 4月 第28回琉球フェスティバル出演 「金細工」他。
3. 9月 野村流音楽協会組踊地謡研修部研修発表会出演 「万才敵討」謝名の子役。
3. 9月 復帰20周年記念文化庁芸術祭沖縄公演 琉球舞踊「稔りの秋」出演 「鳩間節」を踊る。
3. 10月 沖縄県立芸術大学第三回定期公演「能羽の道」出演 舞踊「花風」、「鳩間節」を踊る。
3. 10月 復帰20周年記念沖縄研究国際シンポジウム琉舞鑑賞会出演 「高平良万才」、「鳩間節」を踊る。
3. 11月 アジア太平洋芸能フェスティバル・イン沖縄琉球芸能公演出演 舞踊「金細工」を踊る。
3. 11月 アジア太平洋芸能フェスティバル歓迎レセプション出演 舞踊「かぎやで風」を踊る。
3. 11月 西原町文化協会古典芸能部会記念公演出演 舞踊「八重瀬の万才」を踊る。
3. 11月 野村流音楽協会組研・舞研第7回合同発表会に於て、組踊

「執心鐘入」を指導。

金城 厚（兼任教員）

- (1) 2. 「粟国島のヤガン折目－演唱・演技を中心に－」、「勝連町平安名の年頭」『沖縄の神歌 沖縄の神歌伝承活動（V）－沖縄本島・周辺離島－』 沖縄県教育委員会 平成4年3月30日。
2. 書評『民族音楽叢書』（藤井知昭監修）『音楽学』第38巻1号 平成4年8月10日。
2. 書評『琉球芸能事典』（当間一郎監修 那覇出版編集部編）『民俗芸能研究』第16号 平成4年11月15日。
4. 「沖縄古典音楽の節名における『昔』と『本』」東洋音楽学会沖縄地区第5回定例研究会 平成4年2月29日 那覇：沖縄県立芸術大学。
4. 「自治体における民俗芸能の映像記録方法について」民俗芸能学会第39回研究例会 平成4年7月4日 東京：早稲田大学。
4. 「沖縄音楽の古層を考える」復帰20周年記念沖縄研究国際シンポジウム第5分科会（文学・民族音楽） 平成4年10月25日 那覇：沖縄県立芸術大学。
5. 「《暁節》について」『沖縄県立芸術大学第3回定期公演パンフレット』 平成4年10月14日。
6. 「南西諸島における葬送の歌を考える」九州歴史大学講座 第2期第9回 平成4年6月24日 福岡：筑紫会館。
6. 「『うちよぶ・なりよぶ』をめぐって」沖縄県立芸術大学附属研究所・東南アジア民族文化研究会故内田るり子教授追悼研究発表会 平成4年7月18日 那覇：沖縄県立芸術大学。
7. 採譜『戸田市の祭り囃子・神楽』戸田市立郷土博物館 平成4年3月31日。
- (2) 1. a 総合研究A「南西諸島の音楽芸能における文化複合の総合的研究」研究代表者：金城 厚 交付額 2,200千円。
- (2) 1. b 一般研究B「沖縄古典音楽の伝統譜によるデータベースの構築」

研究代表者：大宮 誠 交付額 400千円。

久万田 晋（専任教員）

- (1) 2. 「奄美大島龍郷町秋名の八月踊り」（寺内直子と共著）『沖縄芸術の科学』第5号 平成4年3月31日。
4. 「座間味村阿嘉の浜下り行事」（寺内直子と共同発表）東洋音楽学会沖縄地区第7回定例研究会 平成4年11月28日 那覇：沖縄県立芸術大学。
- (2) 1. b 総合研究A「南西諸島の音楽芸能における文化複合の総合的研究」
研究代表者：金城 厚 交付額 2,200千円。
1. b 一般研究B「沖縄古典音楽の伝統譜によるデータベースの構築」
研究代表者：大宮 誠 交付額 400千円。